

学年	高校3年	教科	公民	科目	政治・経済演習	単位数	7
教科書名	詳述政治・経済（実教出版）			副教材名	2023 ブームアップ政治・経済資料 政治・経済用語集 20日完成 スピードマスター政治・経済問題集		
コース・クラス	選抜・N進文系						

I. 目標

1. 3年次の基礎学力到達度テスト6割をめざし、基礎的な実力を養う。
2. 民主主義の本質を理解し、広い視野から政治・経済・国際関係について客観的に理解する力を身につけさせる。
3. 政治・経済・国際関係などに関する諸課題について主体的に考察し、解決策を探究させる。
4. 公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

II. 授業のねらい

1. 日本が直面している国際問題を扱い、自分たちの身近な問題として捉えさせ、日本の立場、解決策を考えさせる。
2. 様々な出来事に歴史的・政治的背景があることを理解させ、物事を多面的に捉える力を身につけさせる。
3. 進路目標に即した問題演習を行い、共通テスト・難関私大（MARCHレベル）に対応できる学力を育む。

III. 授業の進め方

1. 毎時間、冒頭に時事問題を取扱い、世の中の動きをつかませる。
2. 板書を軸とした講義に加え、電子黒板や図表も活用し、効率的に授業を進める。
3. DVDや図表を効果的に活用し、視覚から理解を深めさせる。主権者教育はAL方式で行い、より実効性のあるものとする。
4. 小テストを実施し理解度を確認すると共に、單元ごとにセンターレベルの問題を解かせる。

IV. 学習上の留意点

1. 現代社会における事象への関心・意欲を高めるような内容を授業に盛り込む。
2. 用語の暗記のみではなく、様々な事象と関連付けて覚えさせる。
3. 板書の書き写しだけではなく、口頭での説明を細かくメモし付随する知識も身につけさせる。

V. 定期試験

- 1学期 中間試験 : 政治分野（民主政治の基本原則、日本国憲法の基本的性格、日本の政治機構）
- 1学期 期末試験 : 政治分野（現代日本の政治、現代の国際政治）
- 2学期 期末試験 : 経済分野（現代の国際経済）・国際社会の諸課題の探究

VI. 評価の方法

1. 各学期の定期試験
2. 小テスト
3. 課題提出

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標		
一学期	4	第1部 第1編 現代日本の政治 第1章 民主政治の基本原理 1. 政治と法 2. 民主政治と人権保障の発展 3. 国民主権と民主主義の発展 4. 世界の政治制度	小テスト 中間試験	<ul style="list-style-type: none"> ・政治、法、人権等の基本的意義及び成立の歴史的背景を理解する。これらが、世界の政治制度の中でどのように展開されているか、時事問題とも絡めて考察する。 ・日本国憲法の成立、平和主義、人権保障の内容を学習し、今日における日本国憲法の意義を理解する。安保体制に関する問題は難易度が高いが、時代ごとの解釈の変化をしっかりと把握する。 ・国会、内閣、裁判所、地方行政の仕組みを学習し、民主主義がどのように実現されているか、現代社会の課題とともに理解する。 ・政党と選挙、行政機能の優位、世論の役割について学習し、日本の政治が抱える問題について考える。有権者として、投票することの意義や責任を理解し、主体的に政治に参加する意識を身につける。 ・冷戦終結後の国際政治、核軍縮や管理について学習し、国際社会と日本の関係について戦後史の流れの中で考える。常に時事問題とも関連付けて理解する。 		
	5	第2章 日本国憲法の基本的性格 1. 日本国憲法の成立 2. 平和主義 3. 基本的人権の保障 4. 人権のひろがり				
	6	第3章 日本の政治機構 1. 立法 2. 行政 3. 司法 4. 地方自治				
	7	第4章 現代日本の政治 1. 戦後政治の歩み 2. 選挙制度 3. 政治参加と世論				
	7	第2部 第1章 現代の国際政治 1. 国際政治の特質と国際法 2. 国際連合と国際協力 3. 現代国際政治の動向 4. 核兵器と軍縮 5. 国際紛争と難民 6. 国際政治と日本				
	9	第2章 現代の国際経済 1. 商品・資本の流れと国際収支 2. 国際経済体制の変化 3. グローバル化と世界金融 4. 地域経済統合と新興国の台頭 5. 地球環境とエネルギー 6. 経済協力と人間開発の課題			小テスト 課題提出 小テスト 期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・国際経済体制の変容について考える。戦後の国際秩序の変化に関わる諸問題を理解する。世界史・日本史の学習と連動して理解する。 ・第二次世界大戦後の貿易体制、為替相場の変動や冷戦の流れは、当時の首脳と共に把握する。地域経済統合も含めて、戦後史を合わせて理解する。 ・国際社会に存在する諸課題に対して、グローバルな視点を持って解決策を構築する。小論文やディベートを通して、自分の考えを表現する力も養う。
	10	第3章 国際社会の諸課題の探究 1. 紛争の解決に向けた国際社会の取り組み				
11	2. グローバル化にともなう人々の生活や社会の変容					
12	3. イノベーションと成長市場 4. 地球環境と資源・エネルギー問題 5. 国際経済格差の是正と国際協力 6. 持続可能な国際社会づくり					

※ シラバスの内容については、進捗状況、理解度、その他の都合により変更する場合がある。